

書あり 師あり 友ありて



着任のごあいさつ

学校長 平田 高之

入学式を待って来ていたかのように桜の花が咲く誇る4月9日、182名の新入生を迎え、全校生徒535名、教職員45名で、平成31年度がスタートしました。

本年度は、「平成」最後、新しい元号「令和」元年、明石市制100周年、明石城築城400周年、さらに、本校創立75周年と記念すべき年にあたります。

新しい元号には、「人々が美しい心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められているということですが、本校生徒が生きるこれからの社会がそのようなことを願ってやみません。

私ごとですが、この春の異動で、4月1日付で、明石市立大蔵中学校長を拝命しました。平田 高之（ひらた たかゆき）と申します。歴史と伝統を引き継ぐ者として、身が引き締まる思いです。

本校は、私自身昭和59年に初任者教員として、平成9年3月まで（うち平成5年度から3年間はメルボルン日本人学校勤務）お世話になった思い出がいっぱいつまった愛すべき学校で、再度このように勤務させて頂けることになったのはこのうえない幸せを感じています。「明けゆく海の そよ風を…」で始まる校歌も自然と口に出て、始業式で久しぶりに歌いましたが大変感慨深いものがありました。

8日の始業式、9日の入学式を終え、学校に主役の生徒たちが揃いました。新入生はもちろん、2・3年生の生徒からも「新しい学年でやってやるぞ!」という強い気持ちが伝わってきました。朝、校門で、部活動の練習場所で、気持ちの良い挨拶をしてくれています。この生徒たちと、一緒に学校生活を送れることが喜びで、これからの一人ひとりの成長がとても楽しみです。

しかしながら、人口減少、少子高齢化、グローバル化、AIが一層進展するこれからの時代は、「私たち大人が経験したことがない、将来の変化を予測することが困難な時代」と言われています。本校生徒が卒業した後に、このような激動の時代を豊かに生き抜き、自らの未来を開拓できるようにするため、私たち教職員が「チーム大蔵」として一丸となり誠心誠意取り組んでいく覚悟ですが、現在の学校教育は、学校だけでは立ちいきません。保護者・地域の方々の、保護者ならではの、地域ならではのお力をお借りしなければ教育活動が十分成果として現れないことも多々あるかと考えております。何卒、本校教育へのご理解、ご協力をお願いいたします。また、保護者や地域の方々から見られて、お気づきの点がありましたら、忌憚のないご意見を頂ければ幸いです。

- 生徒にとって**来て良かった学校** ○保護者にとって**預けて良かった学校**
- 教職員にとって**勤めて良かった学校**
- 生徒の**自尊心を高め、生徒が、自分自身に、友達に、学級・学年・学校、ふるさとに、大蔵中生であることに誇りを持てる学校づくり**

に取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願っています。

学校からの各通信について

お子様の様子や学年の動き等については、各学年から「学年だより」を発行しております。さらに、「ほけんしつ通信」「給食タイムズ」「1&2のぞみ!」（のぞみ学級通信）「進路通信」（中学3年生）も発行しておりますのでどうぞご覧ください。

この「学校だより」は、保護者の皆さまに、学校全体に関すること等を、不定期にお知らせしようと考えております。題名は、校歌の一番の歌詞から取っていますが、本校のモットーにもなっています。本校の設立・校章・校歌等については、次号以降でご紹介いたします。